

ヒンメルゼミ（第Ⅰ期）

ファミリーキャリアの話をしよう。

社会や暮らしの最小単位・ベースとなる「家族」は、変化の真ただ中にあります。「家族＝男女の夫婦と血縁からなる子」ばかりでもない多様性。共働き夫婦も一般的です。家族のこと、働くこと、家事育児など、すべてを「キャリア」として捉えなおしたい。

夫婦、家族内の話し合いのスキルも交えて考えます。

2018 年度～2019 年度（セミナー@成城ホール）

第 1 回(2018/9/22sat, 10:00-11:45)：『ファミリーキャリアの話をしよう～キャリアも家族も転機をヒントに』

第 2 回(2019/1/28mon, 10:00-11:45)：『ありのままを見る』

第 3 回(2019/2/22fri, 10:00-11:45)：『区別する』

第 4 回(2019/3/24sun, 10:00-11:45)：『視点を変える』

第 5 回(2019/9/28sat, 10:00-11:45)：『家族対話（＝教育）あれこれ』

第 6 回(2019/11/9sat, 10:00-11:45)：『対話のメソッド』

ヒンメルゼミ（第Ⅱ期）

目指すは「多様性を楽しむ社会」です。

暮らしやすさ、生きやすさって何だろう。

個人的なことは社会のコトとつながっています。

私の中のモヤモヤとした気持ちを話しながら、整理して、次の一歩につなげましょう。

2021 年度～（ZOOM）

第 1 回：

2021/5/20(木)10:30-11:30

『コロナ禍だからこそその生活の工夫』

次の新しい時代はどうなっていくでしょうか。暮らしはどうなるでしょう、仕事は？学びは？・・・内容も手段方法にさまざまな可能性があるに違いありません。

コロナ禍で制約があることは事実。でも、こんな工夫があるよ、こんな広がりもあるよ、こんな楽しみがあるよ、と気づきをシェアしましょう！新しい一歩に向けて！

第 2 回：

2021/5/26(水)13:00-14:00

『学びは真似び』

あの人に比べて自分は…等の他者比較はついしてしまいませんか。キラキラ情報は山のようにあります。よしがんばろう！と思えるキッカケならいいですが、ネガティブスパイラルに陥ったらつらいばかり。いいなあと思ったら、何か真似できそうなことはないか、探ります。具体例をたくさん盛り込みます。

比較、競争、勝負、、どれも大事なことです、だから、新しく、自分らしくバージョンアップできるといいです。（でももちろん、みんな違ってみんないい！）

第 3 回：

どんな 20 代を過ごすかで 30-40 代が決まる！と聞いたら

2021/6/2(木)10:00-11:00 『20代ってめちゃくちゃ大事!』	ドキッとしますか? どんな 20 歳を迎えるかは、幼少期含め成長期がとても重要と聞くとドキッとしますか? 多数の大学生を見ていると、小中高生の時期がどれほど大事かと痛感します。現役大学生の話を聞いていると、親含め、大人、社会がいい姿を見せているかと思うと、本当に情けなくなります。社会はぐるぐるつながっている、人生のいろいろな点が線となり面となっていくます。 毎日が選択肢の積み重ねを「自分でする」ことも大事ですね。心をオープンに具体話、失敗話、経験談から 20 代を考えます。
第 4 回: 2021/6/10(木)10:30-11:30 『好き (なこと) を仕事にする』	「自分が好きなことを仕事にしてもいいんですかね」 「好きなことと仕事とは区別して考えたいです」 「自分が好きなことをして稼げている人を見ると羨ましいです」…等々 皆さんはどう考えますか。すでにこれらのセリフに「仕事＝生活のために資金を得るための労働」のプレッシャーを強く感じます。どんな仕事がこの先々生き残っていくのか、どんな新しい仕事が生まれていくのか、未知の世界でもありますね。子どもたちに「安定した仕事につきなさい」というセリフは陳腐です。 好きなことと、仕事＝働くこと（キャリア）について考えます。
第 5 回: 2021/6/18(金)10:00-11:00 『ザ・ジェンダーギャップ!』	ヒンメルゼミ初回から話題がジェンダーギャップに絡み、大変盛り上がりました。 大学の講義では約 200 名から 200 通りのジェンダーギャップの数々があがり、それは昭和の古き良き時代? から何も変わっていないかのよう。 もちろん社会は変化していて、良き進化もたくさん出てきています! きっと、その良き変化に身を置き、ジェンダーを超えた先にある社会はどんな社会なのかとしっかり考える必要があるでしょう。自立した個人として、私は何者かと自問し続けるプロセスでもありますね。
第 6 回: 2021/6/24(木)10:30-11:30 『防災スイッチを ON にする』	齊田季実治レクチャー中心 日本各地で起きる災害。他人事ではありません。「私はきっと大丈夫、死の恐怖を感じることはではないに違いない」と正常性バイアスが働きますか? その気持ちの温度差も危機感の大小も人それぞれ違いま

	すね。 大切な家族、仲間たちとどのように災害について、避難について話していますか。 私はどう行動するか、とスイッチを ON にしましょう！
第 7 回： 2021/6/29(火)10:30-11:30 『家族は仲良くしないといけないの？』	「友達は自分で選ぶことができるけれど、家族は選べない！」という悲痛な叫びを記事で見たり、実際に聞いたりすることがあります。 「家族」のカタチが変化している今、家族って何だろうと思います。何かしらの縁でチームを組まされた？何かのミッションが与えられている？等と思いを巡らせたりしています。 年代を問わず、家族についての（良くも悪くも）あれこれをたくさん聞きます。そして、少なからず「私」に多大な影響を及ぼしている「家族」のことを取り上げます。